

友よ!



東京・石中会だより

第3号

平成19年9月

発行 東京・石中会広報委員会 事務局/〒253-0072 茅ヶ崎市今宿360-3-2-302 Tel.&Fax./0467-85-7631

楽しかった集い第5回総会!

歌あり、踊りあり、ゲームありの楽しい雰囲気、語り尽くせぬ幼馴染との歓談

第5回東京・石中会総会が、9月9日(土) 有楽町・ニュートーキョーにて開催されました。

男性21名、女性12名、計33名が出席されました。初参加の方も多くおりました。秋月会長の開会の挨拶があり、早川さんの乾杯の音頭で歓談が始まりました。各テーブルには同期生、先輩、後輩が思い思いに集まり、近況報告やふるさとの思い出話に花が咲いていました。

今回は、楽しい趣向で、3回生秋保光子さんの日本舞踊が披露され、やんやの喝采となりました。

恒例の石中校歌が流れ、全員懐かしく斉唱し、同期生の固い絆を感じたひと時で、皆さん、笑顔で来年の再会を約束していました。

第5回



がスタート

華麗なる日本舞踊の熱演



このあ



懐かしい校歌を歌う三人



尽きぬ故郷の思い出話

破顔一笑・楽しい同窓生

母校・石中で課外授業!

西条 修氏 (12回生) 海洋建築を語る

平成18年11月22日、母校石中における第2回目の「課外授業」が昨年に引き続き実施された。講師は東京石中会理事であり、日本大学理工学部教授の西条修氏で、講演題目は「海を拓く」である。今年は石中創立60周年目にあたり、周年記念行事の一環として西条氏の講演を「教育講演会」の第一部「基調講演」として位置付けたようである。22日当日は、前日までの氷雨が嘘のように晴れわたり、小春日和の好天に恵まれた。午後1時30分からの講演は、体育館に311名の全校生徒と木村民男校長をはじめとする全教職員、そして東京石中会から駆けつけた5人の理事と在石の5・9・12回生10人ほどの聴衆の前で行われた。講師の西条修氏は、石中(12回生)、石高、日大理工学部(建築専攻)ハワイ大学大学院海洋工学部で学ばれ、現在は日大理工学部海洋建築工学科で現役の教授である。これまで海洋建築専門家として学会の委員長など数多く歴任されている。

眼下に見下ろす太平洋に慣れ親しんでいる石中生にとって、演題「海を拓く」は身近な問題として捉えやすく、近未来に夢を広げる適切なテーマだったと考える。講演内容は、「狭い国土しかない海洋国日本は、国土延長として海に目を向けよう」といういろいろな事例で、プレゼンテーション画像を使って語りかけた。後半は、巨大プロジェクトの「メガフロート(海上飛行場)」計画の貴重な映像で締めくくった。生徒にとっては、身近に海と接してはいるが、石巻の海にはないような想像をはるかに超える巨大な海洋構造物を、現実の物として捉えるきっかけになったのではないだろうか。二人の生徒からの質問があり、最後に生徒会長のお礼の言葉と花束贈呈で無事終了した。この生徒の中から何人かの第2の西条氏が誕生することを期待したい。

教育講演会終了後校長室に戻り、この後予定されている第2部の分科会を受け持つ地元の社会人講師さん達と小時間歓談し、石中を後にした。玄関を出ると、さっきまでの小春日和が冬將軍の到来を思わせる冷たい強風に変わっていた。

(追筆) 今学校では、教科科目の学習の他に、「総合的学習の時間」が設定され、今回のような教育講演会が企画されるようになった。また、第2部の分科会では、「最近の住宅事情と高齢者支援」・「資源のリサイクルを通して」・「広告活動を通して見る街づくり」など9テーマに生徒が別れ、地元の事業者(すべて石中同窓生有志)が講師として迎えられていた。このようなことは昔はなかったことで、東京石中会としても母校に恩返しのできるよい機会として意を強くした。

(飯田勝紀 記)



2006年12月6日付で、「石巻かほく新聞」に掲載された課外授業
(写真提供：石巻かほく)



石巻の活性化、商店街の活性化のため、頑張っています。

群陽同窓会石中同窓会 会長 浅野 亨 (宮城ヤンマー株式会社会長) 電話 0225(93)2121	総合食品 大文字屋 電話 0225(22)1244	海の活をそのままに 白謙蒲鉾店 電話 0225(22)1842	体調異常の治療なら(門脇町一丁目) 内海内科胃腸科 (旧姓・佐藤勝彦) 電話 0225(96)3740	日本舞踊稽古所にどうぞ(山下町) 藤間渡部 藤間京縁 (旧姓・渡部京子) 電話 0225(96)7080	お化粧のことなら(仲町交番向い) メイク いのまた 電話 0225(22)1101	玩具や楽器のことなら サルコヤ 電話 0225(96)3658
---	---	---	---	--	---	---

川島篤子さん(8回生)二科展連続入選おめでとう!

川島篤子さん(旧姓三宅)は、平成18年9月東京都美術館にて開催された二科展「写真部門」で見事入選されました。

「秋模様」というタイトルの素敵な作品ですが、カラーで紹介できないのは残念です。平成19年度も作品「冬椿」の入選(奨励賞も受賞)の通知があったとのこと。川島さんは現在、織布教室を開いて、生徒を指導するかたわら、長年の趣味であるカメラは、セミプロ級の腕前という多芸の持ち主です。素晴らしい感性と技量に敬服です。



見事な作品です。フルカラーでお見せできないのが残念です。

夫婦とも12回生の岡崎です!

12回生の岡崎です。妻の好子(旧姓・渡辺)も12回生。

毎回「東京・石中会だより」を楽しく拝見させて頂いております。前号の「お牧山」の話や、「石巻井」の随想を読んで、子供の頃に見た故郷の風景や様々な思い出が目には浮かんでいました。

現在、立川で「うまいもん処 弁慶」という食事処と仕出しの店を営んでおります。ささやかで小さな店ですが、近くにお立ち寄りの際はぜひお立ち寄りください。

今度の東京・石中会の総会には、ぜひ参加したいと思っております。12回生 岡崎 国男・好子



初参加の私の場合 9回生 K・I

郷里石巻を離れて何十年、度々帰郷することはあっても、生活基盤はすっかりこちらの人。連れ合いがこちらの人なら、石巻弁も忘れがち。食卓に出されたカツオの刺身を見ると、急にホヤが食べたくなり、帰省の時にお袋が作ってくれたキチジの煮付けが思い出される。そんな時、東京石中会の案内が来た。

「友よ! 東京・石中会だより」という新聞が入っていたので、これは本物だなと直感し、思い切って出席してみる。

同期の人は来てるかな。知った顔の人は誰がいるかな。

会場に入って、そんな不安はあったが、あ〜居る、居る。知った顔があちこちに。懐かしい石巻弁も、聞こえてくる。石川啄木の「詠り懐かし・・・」ではないが、心が和らいでくる。その内、大きな顔をして会場をあちこち動き回る。

先輩、後輩なんてものではなく、隣近所のお兄さんお姉さん、遠い親戚、友達の妹、弟。まさに、今回の出席は、新聞が切っ掛けだった。

第6回 東京・石中会 10月14日(日) 開場: 11:30 開宴: 12:00

ニユートーキョー 数寄屋橋本店9階「ラ・ステラ」千代田区有楽町2-2-3

「東京石中会」が設立されて、5年目を迎えることになりました。設立発起人の方々の尽力の功あって、会の形が整ってきました。主たる行事の1、毎年行われる「総会」2、会報「友よ! 東京・石中会だより」の発行 3、母校への「課外授業講師派遣」は、年を重ねることに充実進化してきました。今年は更に東京石中会のホームページの実現に向かって、会員の皆様方との絆をより太くしたいと念じております。会の運営は、案内に同封の皆様方の年会費(1000円)によって賄われておりますが、年会費納入者は168名で、とても間に合いません。不足分は、有志の方々の寄付金と会報の広告で補っております。事務局からお願いですが、会の発展のために年会費の納入に一人でも多くのご協力をお願いします。

事務局 飯田勝紀

編集・広報委員会スタッフ
委員長 井上勝夫
委員 首藤光春
委員 鈴木健司

事務局だより

感想・ご意見をお寄せください
「東京・石中会だより」第3号はいかがだったでしょうか。皆様のご感想やご意見をお聞かせください。皆様からの声を活かして、皆様から愛される広報紙にしたいと思います。

投稿、大歓迎!!!

石巻での思い出、中学校時代のことや最近石巻を訪れて感じたことなど、何でも結構です。皆様からの投稿をお待ちしております。投稿には、お名前、ご住所、回生、電話番号を明記の上、2000〜4000字くらいにまとめて左記事務局まで郵便でお送りください。

宛先: 東京・石中会事務局
飯田 勝紀 〒253-0072
茅ヶ崎市今宿36032302

シリーズ・故郷行脚・その2

妻君のふる里に魅了 石巻を撮る

私の妻が石巻生まれで石中の卒業生です。実家は山下の時計屋で、私は両親へ挨拶に来たのが石巻に来た最初です。子供が生まれてからは、孫をかわいがる両親のため年に2、3度10年くらい毎年石巻に来ていました。石巻では、老舗の多く残る立町の商店街を歩いて本屋で郷土の本を探したり、おいしい店で食べたり、また日和山に登って河口の造船や漁港の賑わいを見たりと楽しい時を過ごしました。子供も大きくなり石巻もしばらくご無沙汰していたのですが両親が相次いで5、6年前に亡くなり、そのとき久しぶりで、実家を訪れました。町は昔より少し活気はなくなっているようでしたが、萬画館となるドームの建物が建設中で新しい町づくりを進めているようでした。両親が亡くなりこのまま石巻との縁が薄くなるのがさびしい感じがしました。

湊町のあたりを散歩していると漁業の盛んだった頃の光景があちこちに見られました。ちょうどそのころ写真を撮り始めていて、そうだ、テーマにこの石巻を選んでみようと思ったのです。いずれ新しい町づくりで変わるにしてもこの港町の風情を写真に残したい、と考えました。この時から年に1、2回石巻に写真を撮りに来ています。今までなんとなく見ていた石巻も魅力がたくさんあります。岡田劇場は健在で、この劇場に関わりのあった芸人たちを描いた大きな看板が目を引きまします。萬画館は整備された河口とともに石巻の新しいランドマークです。北上川が海に注ぐあたりの川岸には古い船が残されていますが、散歩中の方たちと出会います。尺八を吹いているところを写真に撮らせてもらった楽しい出会いもあります。石巻との縁もまだまだ続きそうです。

竹内敏恭 政子（13回生）



漁船団が繁留する港町・石巻を象徴する1枚



夕陽に映える石ノ森萬画館をのぞみ、ウミネコ群れ飛ぶ北上川河畔の1枚



日和山公園で。竹内夫妻、記念行脚の1枚



中瀬で岡田劇場をバックに、昔日を偲ばせる1枚

石巻へお帰りの際は、ぜひお立ち寄りください。

電話 0225(22)2128 栗野蒲鉾店 水産庁長官賞に輝く名品	電話 0225(22)0934 岡田劇場 創業大正十三年、市民の誇る劇場	電話 0225(22)0474 箕田歯科医院 歯の治療・入れ歯なら	電話 0225(22)1518 星薬局 橋通り角の、市民のクスリ屋さん	電話 0225(96)4436 飯田理容室 創業百年を迎えました	電話 0225(96)5150 浜長 四季折々の磯の香りをどうぞ	電話 0225(22)1030 井上海産物店 海産物のお土産なら
---	--	---	---	--	--	--

年会費の納入、有難うございました。

平成18年度の年会費は、166名の方々から振込みがありました。皆様のお陰をもちまして、母校・石巻中学校への支援として実施されている講演会等の活動に役立たせていただいております。紙面を借りまして、納入いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

- 〈第3回生〉青沼義信、秋保光子、秋月英美、阿部 剛、猪狩和子、大木郁子、加藤英子
河野不二子、後藤久男、小林敬子、坂本武久、佐々木襄、嶋田寿子、武山 勝
立岡寿美子、水澤 昇、森山滋之、柳館淑子、結城常明
- 〈第4回生〉菊池桂子、今野和夫 平山 稔、井上英治、加藤利光、大澤寿子、阿部剛夫
森田享子、大西葉子、河崎昌子、大熊正子
- 〈第5回生〉遠藤明夫、猪俣昌子、上原藤三、井上勝夫、菊田淑子、佐藤玲子 早川幸子
鈴木恵美子、石井弘志、佐藤仁子、高村多恵子、阿部道子、高橋貞勝、高橋 勉
島子妙子、阿部忠男、坂元幸久、千坂 健、渡邊寛治、小松悦子
- 〈第6回生〉鈴木季子 久道勝信、相澤昌男、細川金子、藤澤 俊、長崎紀久子
- 〈第7回生〉荒 信子、金澤 功 田上富美子、芳賀鐵夫、橋本洋二、廣瀬知子
- 〈第8回生〉阿部徳雄、梅沢治子、関 春美、高橋静子、橋本照嵩、畠山 尚、秋山英子
首藤光春、鈴木健司、古胡満子、樽見和子、川島あつ子、御牧道子、澤田知子
松田勝治、市川洋子、金森喜美子、安田圭吾 2 口、高嶋展広、山手てい子
多田洋子
- 〈第9回生〉鈴木辰巳、高橋紀子、飯田勝紀、鹿野文二郎、小泉勝子、青山さわ、滝川 勇
田籠美子、滝川喜久子、早田 光、菊池 正、喜友名典子、伊藤幸子、森山 拓
- 〈第10回生〉滝川紘治、菅ノ又桂子、加藤幸子、奥村かつ子 2 口、松江千恵子 2 口
川野 澄子、濱 道子、角田守弘、杉山富子、高泉政勝、緒方正子、斎藤繁治
田代勝彦、石神篠子、今井和代
- 〈第11回生〉渡邊みよ、高橋和子、菊池保夫、高井篤三、後藤永子
- 〈第12回生〉奈良坂仁、今井あい子、夏目都喜子、金澤由紀子、蟹澤詔子、金澤 洋
山下秀子、奥田捷治、小林美智子、村上秀一、西條 修、吉田義男
森田光子、片木征子、門馬糸子、西條純一
- 〈第13回生〉佐々木次臣、小堀敦子、赤塚誠哉、竹内政子、大山義夫、勝島節子
植草良子、藤村綾美、岡田ちづ子
- 〈第14回生〉小川孝三郎、武山和子、若狭公子、山中圭子、梅沢歌子、鈴木照子
- 〈第15回生〉阿部博子、西條紀郎、今井恵子、山形昌子、畠山清光
- 〈第16回生〉金澤 哲、森岡芳朗、葉 良枝、青山憲介、藺田美智子、渡辺啓子 吉田義弘
- 〈第17回生〉西條充郎 〈第20回生〉山川恵利子、渡辺佳子、茂泉吉則
- 〈第25回生〉榎野照子 〈第26回生〉鈴木雅芳 〈第34回生〉星野知倫 (敬称略、名簿順)

※ 昨年度年会費納入者の名簿に、12回生・鈴木季子さんのお名前が漏れておりました。

お振込みに際してのお願い

窓口を通してお振込みされますと、手数料が100円徴収されます。振り込み用の機械(CD)で振り込まれますと、手数料は60円となります。出来るだけ、振込み用の機械(CD)でお振込みされますよう、お願いいたします。

東京・石中会への寄付

東京石中会も今年で6年目に入ります。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。東京・石中会の活動の灯を絶やさないためにもと、以下の回生の方々から多大なご寄付をいただきました。紙面を借りまして、厚くお礼申し上げます。

- 〈第3回生・秋月英美、阿部 剛、青沼義信〉 〈第4回生・阿部 剛夫〉
〈第5回生・上原藤三、鈴木恵美子、遠藤正子(在石)、遠藤 剛(在石)〉
〈第6回生・細川金子〉 〈第9回生・飯田勝紀〉 〈第13回生・大山義夫〉 (以上敬称略)

東京石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記事務局長宛お送りくださいますようお願いいたします。

飯田 勝紀 〒253-0072 茅ヶ崎市今宿360-3-2-302

NEWS FLASH

祝！石中創立60周年！

石中は、今年創立60周年を迎えます。これを記念し、木村民男校長を始め教職員が一丸となって叡智を絞り、3つの記念事業を計画しました。

第1は、施設整備の充実。和室の整備、校舎屋上へ看板設置、校門への掲示板設置など。

第2は、運動会にOB参加の新種目を盛り込むと共に、斎太郎節をアレンジした石中オリジナルの踊りを作り、石中の伝統にしていく。

第3は、群鷗祭（文化祭）の前日に、記念式典と講演会（東京・石中会から講師を派遣してもらい基調講演を依頼）を実施し、群鷗祭終了後に後夜祭として夜のイベント。

これらの実施に当たっては、PTAや群鷗同窓会、東京・石中会の協力を仰ぎながら、生徒を前面に出した構成となっているようです。

群鷗祭（文化祭）は、10月20～21日ですが、皆様お誘い合わせて、この機会に懐かしの石巻に帰り、母校・石中を訪れ、記念行事に参加されてはいかがでしょうか。

NEWS TOPICS

群鷗同窓会（石巻在住同窓会）と協力を誓う！

去る6月6日、東京・石中会代表として、秋月会長、阿部副会長、青沼会計監査（いずれも3回生）が石巻を訪れ、地元石巻同窓会の再発足と今後の相互協力について、浅野群鷗同窓会会長と会談を持った。会談に同席したのは、同じく地元に住する3回生の有志の方々と、共に協力することを浅野会長に申し出た。

役員会に、分科会設置

役員会の各役員に、新たな役割分担として、以下の3つの分科会を設置しました。

第1に、総会推進委員会。総会（集い）がマンネリにならないよう、楽しいイベントなどを考えたりする役目。

第2に、会員増加委員会。各回生の名簿の入手がなかなか困難なため、いろいろな手段を考え、会員を増やす役目。

第3に、広報委員会。広報紙を発行したり、ホームページを作成・管理する役目。

各委員会には、責任者として委員長を置き、3回生は、総括として各委員会の相談に乗っていただくことになりました。詳しくは、以下の「役員紹介」をご覧ください。

今期（平成19年度～20年度）の役員を紹介します。

皆様の親戚、隣近所の方ばかり。

東京・石中会の発展を願って、頑張っています。

ご声援よろしくお願ひします。

役割	氏名	回生	分科会	自己紹介
会長	秋月 英美	3	総括	ブラジル駐在2回、7年半のブラジル通です。
副会長	阿部 剛	3	総括	成田山の上隣に住んでいた、通称アツタケです。
〃	早川 幸子（横山）	5	総会推進委員会・委員長	日和山の横山さんです。
事務局長	飯田 勝紀	9	総会推進委員会	飯田床屋の次男坊です。
役員	武山 勝	3	総括	通称タツケ、住吉町からの学区外通学でした。
〃	阿部 剛夫	4	会員増加委員会	本町の日の出湯。隣が横濱屋、飯田理容室でした。
〃	上原 藤三	5	会員増加委員会	住んでいたのは成田山長栄寺の裏側でした。
〃	鈴木 恵美子（小野）	5	総会推進委員会	ベルが鳴って出ても遅刻しない所に住んでいました。
〃	藤澤 俊	6	会員増加委員会	
〃	鈴木 健司	8	広報委員会	実家は、かつて栄町の三福菓子店でした。
〃	館 克憲	10	総会推進委員会	
〃	西條 修	12	広報委員会	石中の通学路鰐山で育ちました。交番の近くです。
〃	奈良坂 仁	12	会員増加委員会・委員長	実家は医者でしたが、私は銀行員でした。
〃	小川 孝三郎	14	総会推進委員会	日和山のこうちゃん、と呼ばれていました。
〃	星澤 晋	15	総会推進委員会	実家は、文化劇場（現在駐車場）でした。
〃	星 憲夫	15	会員増加委員会	
会計監事	青沼 義信	3	総括	アオヌマ電気、10人兄弟の6番目です。
〃	大木 郁子（遠藤）	3	総括	
会計部長	井上 勝夫	5	広報委員会・委員長	実家は、サルコヤです。
庶務	橋本 照嵩	8	総会推進委員会	「とうみぎ」売ってた横濱屋の、二男坊です。
〃	首藤 光春	8	広報委員会	イズオンツァンの荒神輿、二階見物でゴシャカレた。